

1. 研修会名

平成 29 年度 中堅保育所長等研修会

2. 研修会の構図 (グラウンドデザイン)

本研修会は、最新の保育施策の動向や保育所等の運営管理、中・長期的な課題への対策等を学ぶことで、保育所等における保育の質の向上を図ることを目的とし、保育所等の長 (以下、「保育所長等」という) としての経験が 5 年以上の方を対象に、中堅保育所等長として必要な知識等を学び、保育所等の運営・実践を振り返り、時代に即した多様なニーズに応えられる知識・技術・実践を学ぶことにより、自園の保育の質の向上を図ることを基本コンセプトとしている。

保育所等の発展、保育の質や保育者の資質の向上に向けて、保育・教育に関する最新の動向や知見を踏まえ、中・長期なビジョンや課題等を把握・整理し、組織運営や保育実践等を学ぶことにより、管理職として自らの専門性を高めていくことが求められている。

本研修会のプログラムは、保育所保育指針を踏まえ、組織開発に寄与するために「保育制度の動向」「保育所等の運営上の課題」「地域に開かれた保育所づくり」「乳幼児期の保育」「人材育成」「組織マネジメント」の知識・技術を学べるよう構成している。

3. 基本コンセプト・研修のねらい

(基本コンセプト) 保育所等の運営・実践を振り返り、時代に即した多様なニーズに応えられる知識・技術・実践を学ぶことにより、自園の保育の質の向上を図る。

(研修のねらい) ・保育に関する最新の知見・トピックや中・長期的な課題の整理と、解決への道筋を立てる。

- ・人材育成及び組織マネジメントの方法を理解し、保育の質の向上を図る。
- ・他園の実践事例等を学び、自園の実践を振り返る。
- ・管理職として、自らの専門性を高める。

4. 受講対象・受講条件

保育所長等の施設長経験 5 年以上の者

※「保育所等の施設長経験」とは、「認可保育所」「認定こども園」「地域型保育事業 (小規模保育事業・事業所内保育事業)」における施設長としての経験を指しており、認可外保育施設 (企業主導型含む)、地域単独保育事業 (認証、認定等) での施設長経験年数は含まれません。なお、「地域型保育事業 (小規模保育事業・事業所内保育事業)」としての施設長経験や以前に認可保育施設で保育所長として就任されていた経験が合計 5 年以上の方は対象となります。(認可保育施設での所長経験が複数園ある場合は年数合算可)

※経験年数は、研修会開催日から起算し、保育所等の施設長経験年数 5 年以上の方が対象となります。

5. 研修内容

- ① 保育制度の動向及び関係法令等
- ② 保育所等における運営上の課題
- ③ 地域に開かれた保育所等づくり
- ④ 乳幼児期の保育
- ⑤ 保育所等における人材育成
- ⑥ 保育所等における組織づくり

6. 研修の構成

本コースは、15時間の研修であり、この研修をより効果的にするために、事前課題ならびに事後課題の学習機会を設ける。この事前課題、研修、事後課題の一連において本研修を構成し、すべてに参加することにより研修会の全課程を修了したものとする。

7. 事前学習（課題）

保育所保育指針を一読し、自園の保育所長等としての役割をまとめる。また、所属の保育所等における諸課題について把握し、研修当日の討議等において、他者（他の受講者）に説明できるように整理しておくこととする。

8. 事後学習（課題）

研修後、研修会の各科目に関する学びを振り返り、事前学習（課題）の内容をさらに深く把握・分析する。それらを踏まえ、自園に戻ってからのアクションプラン（行動計画・指標）を立てること。必要に応じて研修の内容の確認を求める。

9. 研修

研修は6科目により構成され、研修会の構図（グランドデザイン）及び基本コンセプト並びに研修のねらいに基づいて、各研修の講師を選定し、また以下の方法のいずれか、又は組み合わせによって実施する。なお、各科目の講師との協議によって到達目標の達成においてより良い方法があると判断される場合には、この限りではない。

【研修の進行方法について】

A. 講義形式

最新情報や関連理論の入手・獲得を行い、知識の体系化・整理をねらいとする

B. グループディスカッション形式

実践例の紹介により、知識の体系化や講義内容の理解を深め、新しいアイディアの創出と共有することをねらいとする

C. ワークシート作成型ワークショップ形式

学習内容の整理と定着をねらいとし、実践に反映するために自園の状況の整理と把握、企画・計画の作成をねらいとする。

講義 No.	科目名	講義内容	進行 方法	時 間
1	保育制度の 動向及び関 係法令等	<p>[概要]</p> <p>最新の保育制度の動向や、社会状況の変化に伴って保育所に求められる役割等について学習し、中堅保育所長等として現在及び中・長期的な状況を踏まえながら今後の組織運営の方向性を確認する。また、関係法令等を理解し、自園の職員等への情報提供を適切に図れるよう学習する。</p> <p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保育制度の動向 ➤ 関係法令等（保育所保育指針の改定に関する内容を含む） 	A	1
2	保育所等に おける運営 上の課題	<p>[概要]</p> <p>社会情勢の変化に伴い、保育所等に求められる役割は大きく、広がっていることから、保育所等の機能や保育所長としての役割を再認識する。</p> <p>また、所属の保育所等の中・長期的な課題を明確にし、様々な地域の他園の現状や意識を共有し、本研修会全体の研修内容を意識化することによって、学びの定着・活用に繋げる。</p> <p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保育現場における運営上の課題 	B	1
3	地域に開か れた保育所 等づくり	<p>[概要]</p> <p>子育てをめぐる社会的な状況の変化により、保育ニーズはますます多様化し、保育所等は、より積極的に子どもの育ちと子育てを支援することが求められている。また、保育所等全体や地域を含め、包括的な視点を持ちながら、自園の実情や地域資源を踏まえ、子どもの発達を保障するために必要な連携・協働を図り、保育所等が果たす役割とその具体的な方策について学習する。</p> <p>[学習内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保育所等における地域子育て支援 ➤ 地域及び関係機関との連携・協働 	A	1.5

保育所等

難点を考慮し、保育現場における運営上の課題を認識する

4	乳幼児期の 保育	<p>【概要】</p> <p>保育所保育指針に基づき、乳幼児期の子どもの発達状況に応じた保育実践のあり方や子どもの育ちを支えるための人的・物的環境について理解し、より良い保育実践を展開していくための体制づくりについて、実践事例等から学ぶ。また、所属の保育所等の保育の現状を把握・整理し、保育所長等の役割を学習することにより、保育の質の向上を図るための組織的な対応について、学習する。</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもの発達状況に応じた乳幼児期の保育実践事例等 ▶ 保育の質の向上を図るための組織的な対応 	A	4.5
5	保育所等に おける人材 育成	<p>【概要】</p> <p>保育所等職員の育成、園内外の研修の充実、保育者が働き続けられる環境整備により、保育の質の向上や豊かな保育実践を支えることが保育所長等に求められている。園内外の研修の計画や活用について理解し、保育者一人ひとりの専門性の向上や保育理念の共有等、組織全体の質の向上のための人材育成の取り組みについて、学習する。</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 職員の資質向上 ▶ 職場における研修や外部研修の活用 ▶ 研修計画の作成 ▶ 組織内での研修効果の活用 	A	2
6	保育所等に おける組織 作り	<p>【概要】</p> <p>各講義で学んだことを活かし、保育をめぐる現代的な課題を中・長期的な視点で整理し、発展的な組織作りのために、具体的な行動計画（アクションプラン）を作成する。</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育所等の組織マネジメント ▶ 保育所等の運営における中・長期的な課題への対応 	C	5

修了証の発行条件

以下の3点について完了した方に修了証を発行・発送する（目安：約1か月後。）

- ① 事前学習（課題）を指定のとおり提出すること
- ② 研修科目全てへの出席・修了をすること
- ③ 事後学習（課題）を指定のとおり提出すること